

就農準備資金・農業次世代人材投資事業
全国型教育機関としての就農サポート体制

教育機関名：学校法人中野学園 専門学校オイスカ・アグリ・カレッジ

(1) 就農に向けた相談体制

1) 相談窓口

①アグリ・ウェルネス科／就農関係の主たる窓口

農業関係の研修を行っている学科が主たる窓口として、在学中（研修期間中）及び卒業後（研修終了後）の就農に向けたサポートを行っている。

②教務課進路指導担当／進路全般に関する窓口

進路関係の各種案内、新卒応援ハローワークとの連携、職業適性検査、キャリアプラン等を担当している。

③学年クラス担任／補助的な窓口

補助的な窓口として、上記の各部署と連携して指導している。

2) 相談対応方法等

①学生（研修生）個々への対応

在校生または卒業生について、本人の状況や希望に応じて、相談窓口が相談に応じている。

②定期的対応

年間計画のもと定期的に、在校生には面談（月1回以上）、卒業生には連絡・追跡調査（年3回以上）を行っている。

③普段の対応

日常の学校教育活動におけるコミュニケーションの中で状況を把握し、必要に応じて面談・相談を行っている。

④外部への相談

本人の状況や目的に応じて、本校への協力者（これまでの就職先、インターンシップ先やアドバイザー等）に専門的な相談やアドバイスをもらえるよう橋渡しをしている。

（2）就農・定着に向けたサポート内容等

1) 就農に向けたサポート（就農先の紹介等）

①インターンシップとフィードバック

- ・先進的な農家・農業法人へのインターンシップを本人の状況や希望に沿って、実施している。
- ・インターンシップ中は本校職員が可能な範囲で視察、調整、指導を行っている。
- ・インターンシップごとに適性や課題をフィードバックし、事後の研修に活かしている。
- ・本校職員がインターンシップ先と連絡を取り客観的な評価をしている。

②資格取得

- ・必要な資格や取得するのが望ましい資格に関して、取得を促す指導をしている。
- ・上記に関する資格等は、取得希望者がまとまって受講または受験できるよう便宜を図ると共に、公欠席扱いにするなどの支援をしている。

③就職活動とマッチング

- ・ハローワークや地域の農業委員会、農林事務所、農協等と連携をはかり、農地の確保又は就職先（農家・農業法人等）の確保、就農計画作成、就農先開拓のアドバイスなど希望する地域・ジャンルへの就農を支援している。
- ・研修修了（卒業）後の進路に対するキャリアプラン（就農に向けての目標・課題・取組内容・具体的年間計画等）の作成・実施について、指導・支援している。
- ・2年生9月までの進路内定を目標に、進路フェア、インターンシップ、職場見学等によって、就農希望先を絞り込ませている。
- ・「卒業研究・卒業作品制作」の指導内容の一部として、将来の営農ビジョン計画を発表するよう指導している。
- ・農業関係の進路相談会、インターンシップ等を通して、学生が持つ興味・スキルと農家・農業法人が求める人材について、マッチングを図っている。

2) 就農後の定着に向けたサポート（地域関係者との連携・フォローアップ）

- ・卒業生への定期連絡や追跡調査（年3回以上）を行い、必要に応じてアドバイスや就職先への連絡・調整、専門アドバイザーの紹介などフォローアップを行っている。
- ・就農先の農家・農業法人等との連絡（年数回）により、本人の状況を確認し、必要に応じてアドバイス等のフォローアップを行っている。
- ・住居その他の生活環境について確認し、必要に応じて相談や自治体等への連絡・調整などのフォローアップを行っている。

3) その他サポート

次の方法で定期とは別に、必要な助言をしている。

- ・卒業生の母校訪問を受けての近況報告を受ける。
- ・電話・メールや SNS 等での適切な助言をする。
- ・各種イベント（文化祭等の校内行事、環境保全活動、国際交流活動等の地域行事）中の対話をとおして適切な助言をする。